■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

神戸新聞社の方が、この記憶は、まだ阪神・淡路大震災を知らない子供達に受け継がなければならない、と言っていました。そして、新聞にもあるように、毎年1月17日には、皆、祈りをささげたりしています。ということは、記憶は現代にも受け継がれているということです。ですから私も、この記憶を、周りの1人や2人でもいいから、受け継ぐことが出来ればいいなぁと思います。それに、映像でも見た通り、阪神・淡路大震災は、かなり大きな地震でした。私たちが生きている間に大きな地震（南海トラフ巨大地震）は必ず起きると言われているので、いつ起きても命だけは守れるように、今日言われたことをしっかり頭の中にたたき込み、しっかり供えていこうと思います。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

長い時間がたっても、阪神・淡路大震災は亡くなった人たちの思いを受けついでいるんだなと思いました。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

じしんわめちゃくちゃこわいし。
いつじしんがあるかそなえないと。
あかん。
ほんとにいまじしんがきょうてないから。
いまの時間をたいせつにしないと。
じぶんのからだをたいせつにしないと。
ごびでおでは めちゃくちゃすごいじしんで
すごくこわかったです。
じぶんがたいけんしたらもっとこわいん
だなっとおもいました。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

震災についていろいろなことがあって深く考えるととても大事ということに気づきました。
私は阪神淡路大震災のあとに生まれた兵庫県でまたつながりつづけているのは地震はとてもおそろしくそして多くの人の命と心を奪ってきたという事実があるからだと思いました。
僕たちはこのような事があったことを心に残し次の人たちに伝えてつなげていかないと思いました。地震はいつくるかわからなくてたくさんの人の命を奪いました。ただ覚えておくだけじゃなくいつきてもだいじょうぶなように準備しておこうと思いました。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

阪神・淡路大震災ではたくさんの人が亡くなり、大きな被害にあったことが、この学習で強い思いしらされました。また、だからといって、このことをもう一度くり返すわけにはいかないと、対策し、私たちに伝えてくれたことがとてもありがたく感じました。そして、それを伝えてもらった私たちが次の子供たちへとつないでいくことが大切なことを知りました。私は、亡くなった方々や、阪神・淡路大震災について伝えてくださった人たちのことを思いながら伝えていきたいと思いました。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

いつ、どういうときに地震が発生するのかは誰にもわからないし、いざ地震に巻きこまれてしまった時はきっとなにをしたらいいのかパニックになってわからなくなってしまうと思うので、日頃からひ難訓練でその時の行動について考えたり、家族が離れているときに巻きこまれた場合どうやって合流するのかだとか、部屋にかいちゅう電灯を置いたり工夫はいくらでもできると思うので、そういう時にそなえてしっかり備えておこうと考える良い機会になりました。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

けぶんをだすのに、すごく手がかかった。
テレビなどのかぐがとんでくる。
いっぱいのんがけむりでくさくなった。
もし、つよいじしんがきても、あせずにれいせいに
いること。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

阪神・淡路大震災の起こった時私は生まれていなかったし、実際のゆれも分かりません。でも、話を聞いていると、私達には考えられないような大きな大きなゆれで、多くの人々の心や思い出、神戸の街に傷あとを残したことが分かりました。たくさんの命がこの地震で消えていきました。今、この世の中で生きている、体験した人がどう感じるのか、人それぞれだとは思います。でも私は忘れてはいけない事だと思います。

多くの被害を受けて、つらい思いをしてきた人がいることを忘れてはいけない、ぐちゃぐちゃになった神戸の街も少しずつ、元の形へと戻ってきている、この事は、私達自身で伝えなくてはいけない事だと思います。

地震が多い日本で、地震をゼロにすることはできない。でも被害を少なくすることはできます。これ以上人々の心に傷をつけないために命を守り続けるために、今の自分に何ができるのか話し合い、自分の生まれたまち、「兵庫」を大事にしていきたいです。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

阪神・淡路大震災はマグニチュード7.3でしんどい時テレビの中でとてもはげしい地震でじょうきょうを聞かれたときにはめちゃくちゃとしか言えなかったほどすごかった

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

マグニチュード7.3、震度7という大きな地震で、多くの人がもったビルがかたむいたり、高速道路がくずれたりしてふっきょうなどが大へんだったということがわかりました。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

地震いろいろあるけどいつくるかわからないとき自分の命を守れるしゅだんがいろいろあって僕がしらなかったことが震災を学べた。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

阪神・淡路大震災だけで大ぜいの人が亡くなったり、家やたてものがほうかいしたりしたのにすごくこわいなと思ったけど、震災にあった人たちはもっとこわかったと思うし、自分のしっている人が亡なったりして悲しいこともあったと思いました。

28年たっていても忘れないように震災を体験した人たちが知らない人たちに伝えていって、忘れないようにしているんだと思いました。

震災の後も町のこわれたたて物とかがれきとかをちょっとずつかたずけて、もとにもどしていくのがとても大へんだろうなと思いました。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

地震が起ったときの写真で阪神高速道路とかが倒れていたのでそれほど強い地震だったんだなということが分かりました。
クラスルームの資料に地震のときの死者など人数が書いてあったけどとても多かったので地震のあと悲しんでいる人がたくさんいたのではないかなと思いました。
新聞などには伝えていく人減っていると書いてあったのでこういうことは僕達が伝えていかなくちゃいけないんだなと思いました

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

災害があってからじゃおそいから、そなえられるものはできるだけそなえておこうと思った。ねているときに地振がおこるかもしれないから、ものを置く場所とか、窓のカーテンとかを帰ったら確認しようと思った。

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。

■授業を聞いて、わかったこと、感じたことや考えたことをまとめましょう。

地震が起ったときどうやってたりようしたらいいのかがわかりました。
・備えはゴールがないというのがしりました。いつ起こるかわからなのでこわいとおもいました。
家族で地震が起ったらどこに集合が決めておきたいと思いました

■授業の内容や話を聞いて自分が考えたことなどをメモに残そう。